

第4次行動計画数値目標の達成状況

	項目	担当課	基準		目標		令和6年度(年)			
			年又は年度	基準値	年又は年度	目標値	実績	達成率	備考(※1)	
◎意識づくり	1	サイバーセキュリティ講話の受講者数	サイバー犯罪対策課	H29～R元年の平均	12,599人	毎年	13,000人以上 31,000人以上	38,794人	125%	
	2	交通安全教育の受講者数	交通企画課	H27～R元年の平均	461,014人	毎年	42万人以上	356,690人	84.9%	コロナ禍以降の社会生活の変化により、企業団体からの交通安全教育の受講依頼数が低迷していること及び1回当たりの受講者数も減少していることが未達成の要因
	3	県民への薬物乱用防止に係る講演会等の開催回数	業務行政室	H28～H30年度の平均	108回	R7年度	110回以上	35回	31.8%	新型コロナウイルス感染症発生以降、対面による講習会の開催が減少したまままで基準値ほどの開催状況に戻せていない
	4	薬物乱用防止教室・非行防止教室の参加人数	生活安全企画課	R元年	77,469人	毎年	8万人以上	70,544人	88.1%	実施回数が前年を下回った(令和6年中345回、前年比-62回)ことにより、未達成となった。
	5	犯罪被害者等支援に関する広報・意識啓発活動の対象者数	交通・地域安全課	R元年度	74,400人	毎年度	75,000人以上	75,563人	100.7%	
	6	安全・安心に関する情報発信数	生活安全企画課	R元年	3,442件	毎年	3,500件以上	3873件	110.7%	
◎地域づくり	7	防災推進員の新規養成者数	危機管理課	R2年度	120人	R7年度	120人	89人	74.2%	一箇所を新上五島町で開催したが、当該講座は1泊2日のプログラムとなっており、宿泊が伴う状況。新上五島町では、宿泊施設が限られており、本土からの受講者が確保できなかったことによるもの。
	8	県管理の公共施設(河川、道路、海岸、港湾、漁港、都市公園、砂防施設)において、ボランティアによる清掃、美化活動を行う愛護活動回数	土木部各課 ※2	H27～R元年度の平均	3,270回	毎年度	3,300回	2,700回 (R7.2未現在)	81.8%	猛暑の影響や団体の構成員の高齢化等により、活動が減少したため。
	9	長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり宣言参加団体数	交通・地域安全課	R元年度	260団体	R7年度	430団体	410団体	95.3%	※R6年度目標は400団体(R6達成率102.5%)
	10	「ながさきファミリープログラム」の参加者満足度	生涯学習課			R7年度	満足度 90%以上	97%	107.8%	
	11	放課後児童クラブ待機児童数	こども未来課	R元年度	29人	R7年度	0人	85	-193.0%	新興住宅地等で利用希望者が増加しているが、施設の入人数が追いついていない。
	12	非行少年総数の抑止	生活安全企画課	R元年	194人	毎年	前年を下回る非 行少年総数	226人	84.0%	万引き等の増加により前年比+35人となり、未達成となった。
	13	高齢者を守るための防犯講習の受講者数	生活安全企画課	H29～R元年の平均	28,355人	毎年	3万人	11694人	39.0%	新型コロナウイルス沈静化以降も、社会の変化に伴い、広報活動自体が非対面型にシフトするなど、会合開催が縮小のまま推移しているため。
	14	権利擁護に関する研修の受講者数	長寿社会課	R元年度	361人	毎年度	500人	811人	162.0%	
◎環境づくり	15	高齢者の暮らしを支える有償ボランティア等助け合い活動を行う団体数	長寿社会課	R元年度	70団体	R7年度	330団体	320団体	96.0%	令和6年度末で96%
	16	県管理の国県道で交通安全整備事業として、今後5ヶ年で整備する歩道の延長	道路維持課			R3年度～ R7年度	12.5km	10.6km	84.0%	目標通りの整備が実施できている
	17	児童生徒に対し防犯教室を実施している学校の割合	児童生徒支援課	H30年度	91.8%	R7年度	100%	-	-	統計値は10月頃に算出(令和5年中100%)
	18	関係機関や地域の団体、PTA等と連携して、登下校時の見守り活動をしている学校の割合	児童生徒支援課	H30年度	100%	R7年度	100%維持	-	-	統計値は10月頃に算出(令和5年中100%)

※1:令和6年度の実績が目標に達しなかった場合、その理由等を備考欄に記入願います。

※2:土木部各課は、河川課・道路維持課・港湾課・都市政策課・砂防課・漁港漁場課となります。